



# 宮崎市立宮崎北中学校 1年

# 景観教室実施報告書



景観は、海、山、川などの自然環境、建物や道路など目に映るまちの姿だけでなく、雰囲気や文化歴史などの印象を含め、生活空間や環境そのものであり、都市の個性や文化水準を表すものです。

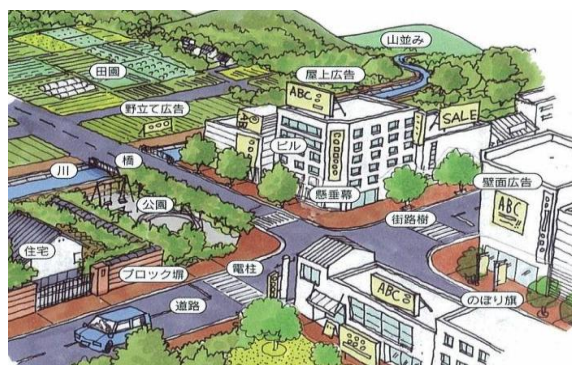
宮崎北中学校では、景観を学ぶことを通して、景観への関心や意識を向上、郷土への愛着を図ることを目的として、平成25年1月・12月に、宮崎市景観課と(社)宮崎県建築士会の協力により、1年生48名を対象とした『景観教室』を、計3回行いました。

## 第1回「景観を知る」 11月28日(木) 5・6時間目

### ■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何か」という内容で、建築士会の越山さんから、基礎的な授業が行われました。

自然や建物など、国内や世界の景観写真を見ながら、景観の考え方を学び、景観づくりでは「市民・行政・事業所」が協力することが大切なことを知りました。



自然・道路(堀切峠)



建築物(宮崎県庁本館)

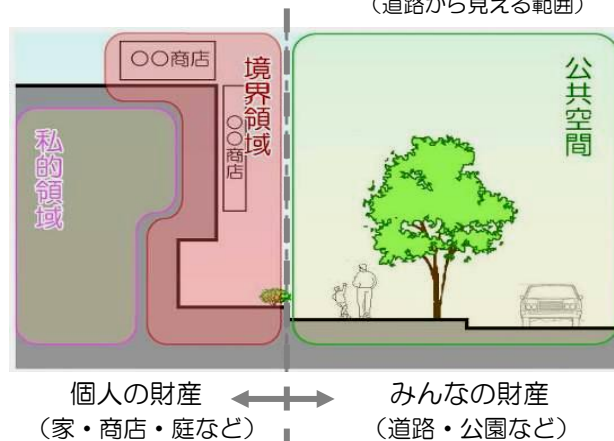


産業(日南市坂元棚田)



歴史(日南市飢肥城)

景観はみんなの空間  
(道路から見える範囲)



個人の財産  
(家・商店・庭など)

みんなの財産  
(道路・公園など)

### ワシントニアパーム管理問題

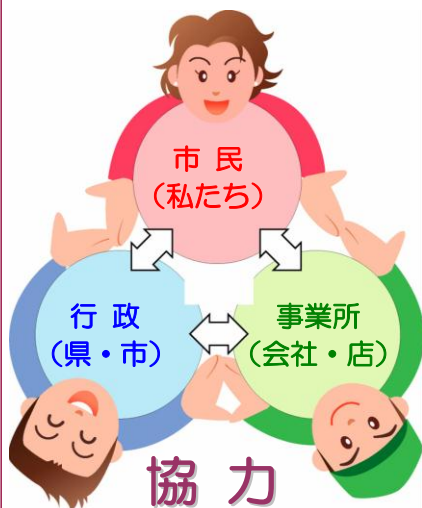


1979年(35年前)



現在

国道220号のワシントニアパーム



協力

### ☆☆ 景観学習のポイント ☆☆

- ① 景観をつくるもの：自然、建築物、看板、産業、芸術、歴史…
- ② 景観はみんなの財産(宝物)、みんなの手で作る、守る、育てるもの。



講師の越山さん

学習では、国内外の景観写真を用いて、景観の特徴や問題点などを説明しました。最後に、宮崎を代表する景観を紹介、みんなの宝（財産）ということ学びました。

### ■ 瓜生野・倉岡のイメージを探る～マインドマップ作成～

「マインドマップ」という手法を用いて、瓜生野・倉岡をイメージする言葉を自由に各班 100～200 程度の言葉を書き出しました。この中から「ベストオブ瓜生野・倉岡☆」という言葉を選び、発表しました。

「ベストオブ瓜生野・倉岡☆」として、「ふるさと踊り」、「大仏」、「大淀川」、「桜」、「十五夜」・・・が選出されました。いずれも宮崎北中地区に馴染みの深い言葉です。



マインドマップ（言葉が枝葉状に描かれます）



マインドマップ作成の様子（自由に言葉を書き込みます）

発表の様子（ベストオブ瓜生野・倉岡☆とその理由を発表）

## 第2回「景観を調べる」 12月 5日（木）5・6時間目

大淀川の河川敷や田畑、昔からの集落がある宮崎北中学校周辺のまち歩きを行いました。

初冬の青空の下、生徒の皆さんは8班に分かれて、学校区周辺の気になる場所、好きな場所へ歩いて行き、「いいなあ」と思う景観、「これはちょっとどうかな」と思う景観を探して、メモ用紙に記録してもらいました。



学校近くの田畑を眺めます。



中庭のベンチに座り、景観を確認！



大淀川の土手を並んで歩きながら、景観を眺めます。



## ■ まち歩きで見つけた景観



宮崎北中校舎と学校の木「ムクノキ」



黄色に色づいた校庭の銀杏の木



大淀川の土手と河川敷



大淀川の土手から眺めた有田橋



学校周囲の田畑にある鉄塔



綾宮崎自転車道の看板

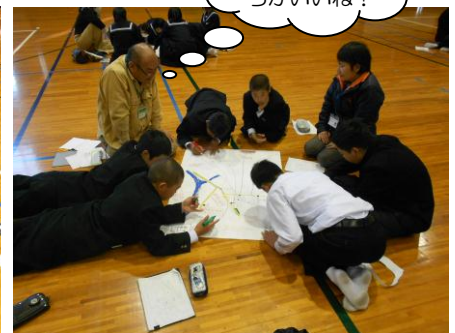
## ■ まち歩きのとまとめ～宮崎北中周辺景観マップ作成～

まち歩きの後、学校に戻り、まとめを行ないました。

まとめでは、まち歩きで感じた「良い景観」「改善したい景観」を模造紙に文字と絵を描いて、景観マップを作成しました。「大淀川」や「鉄塔」、「田畑」などが描かれ、この地区の景観の特徴がよく伝わるものとなっていました。



遠くに見える山なみがきれいだよね！



大淀川と本庄川が交るところがいいね！

まとめの様子（建築士会の講師の方と一緒に作成しています。）



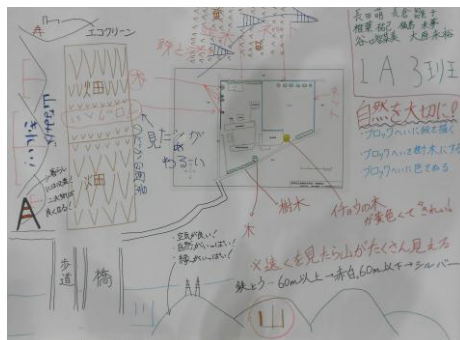
発表の様子（説明する班も聞く生徒もみんな真剣に聞いています。）

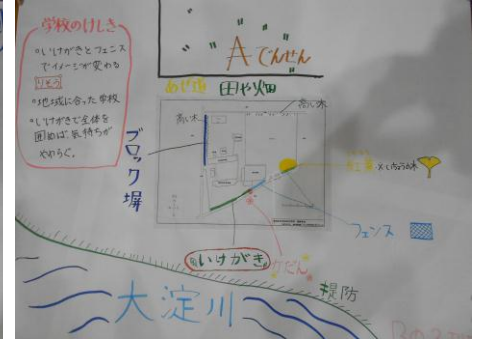
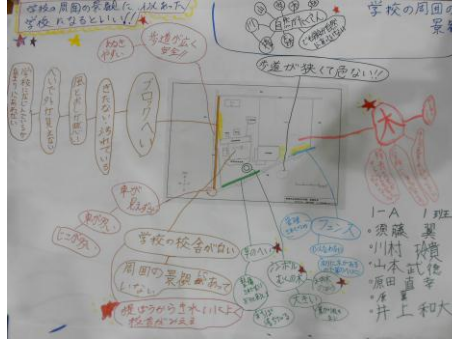
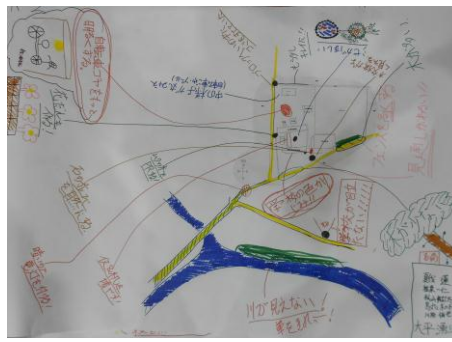
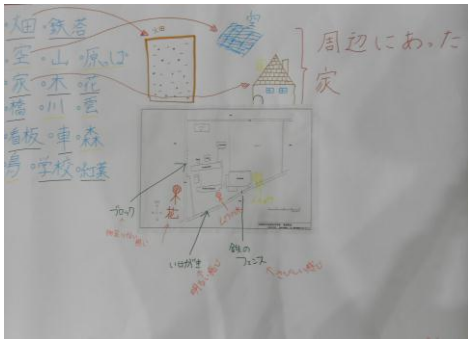


景観マップを作成した後、班ごとに発表し、最も印象的な景観、将来まで残したい景観について説明しました。「大淀川堤防からの景色」、「遠くの山並み」「周辺の田畑」は印象的で残したい景観、樹齢300年以上になる「学校の木・ムクノキ」など自然を大切にしたいという意見が多かったですね。

## ★★ 「宮崎北中周辺景観マップ」をご紹介します。★★

「宮崎北中周辺景観マップ」には、学校の周りにある田畑や橋、大淀川などが描かれていますが、中には遠くの山並みなども描かれていました。この地区は、景観を遮るものが少なく、眺めが良くて、景観を楽しめる場所なんですね。





### 第3回「景観を表現する」 12月12日(木) 5・6時間目

前回作成した「景観マップ」を参考にして、「周辺景観に配慮した学校」の模型を作成しました。

作成された模型では、周辺景観との関係や眺望（遠くを眺めること）、快適な学校内の景観など、様々な観点で検討を行いました。この模型作成では、建築士会の皆さんの専門的な指導もあり、「なるほど～」と感心しながら、景観に配慮した「未来の宮崎北中」を作りました。

#### ■ 模型制作～景観に配慮した宮崎北中～

模型制作では、宮崎北中の配置図（建物と敷地、道路をが上空から見た図）に、予め建築士会の皆さんが作成した建物模型を配置、樹木や花々等を表す材料を加えて作成しました。

景観に配慮した学校とするため、建物の配置や大きさ、樹木や花の緑の役割などを考え、建築士会の皆さんアドバイスを頂きながら作成しました。景観の効果を考えることで、理解も深まったようです。



模型制作の方法について説明



敷地と道路の関係…樹木や花など、緑や自然により雰囲気良くしています。



この班のテーマは『エコ』…太陽光発電のある屋根付きプールなど発想が豊かです。



#### ☆☆ 模型制作のポイント ☆☆

- ① 立体的に見るには、上からだけでなく、横からも見る。
- ② 道路と敷地の関係に注意する。敷地周辺を緑で彩る。
- ③ 建物の間隔を確保する。影や日光の取り入れを考える。

## ■ 作品発表と最優秀賞の選考

班ごとに作成した模型について、学校のコンセプトと景観に配慮した内容を発表しました。

発表のあとは、講師である建築士会の福添さんから「緑の効果」や「道路との関係」などアドバイスもあり、皆さん、さらに理解を深めることができましたね。

最後に、生徒の皆さんの投票により最優秀賞に「屋根緑化、緑いっぱいの校庭」の学校が選ばれました。



発表の様子（コンセプトと景観に配慮した点について説明します。）



投票の様子（皆で良い作品を選びます。）

## ☆☆ 「景観に配慮した宮崎北中」最優秀作品をご紹介します。 ☆☆



6階建の校舎からは、大淀川や田畑、山並みなど周囲の景観を見渡せ、屋上緑化の屋根は、周囲の自然にマッチします。

道路に面して花がっばい。芝生の校庭など、自然の雰囲気も楽しめそうですね。

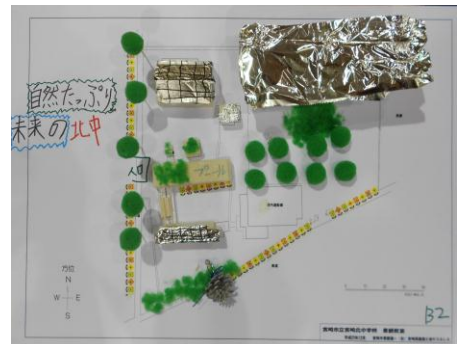
## ★ その他の作品もご紹介します。～みんな良く頑張りました♪～



空・緑が見える中学校



中庭のある明るい北中



自然たっぷり未来の北中



地域にあった自然豊かな学校



緑がっばいで明るい北中



周囲の景観にあった学校



緑を強調した北中

### ■ 授業の最後に・・・

建築士会の福添さんから、東日本大震災で被災した陸前高田市の「奇跡の一本松」についてのお話があり、『景観は心に残る風景、大切なもの』という内容のお話頂きました。皆さん、真剣に聞いていましたね。



陸前高田市の「奇跡の一本松」

### ☆☆ 記念撮影～作品を前にみんな笑顔です～☆☆



建築士会の講師の皆さん

### ■ 生徒の皆さんの感想

- 模型作りが心に残りました。私たちの班は「自然を大切にする」というコンセプトをみんなで話しあい、緑を守るよう校舎や体育館の屋上を芝生にしました。また、まち歩きの際にブロック塀は変えたいという意見があったので全部樹木にしました。そして中庭に花を植えました。いい経験をさせて頂きました。
- 景観はやっぱり大切だと思いました。この景観教室の経験を生かして、自分で町を歩いた時に景色を見て、景観を創造したいです。
- 景観はどういうものだろうと思いましたが、授業によってどんどん理解できました。北地区の河川敷にたくさんの山や自然が見え、瓜生野・倉岡の良さが分かりました。
- 班の友達と一緒に模型を作る中で、建築士の方に協力頂き、どんどん発想が大きくなりました。建物の使い方や方位、スペース活用などを考えて作りました。ゆったりと座れるベンチなど、学校を心地よいものにして、周囲にあった学校にできれば良いと思いました。
- まち歩きでは、自分の住む地域をよく見たのは初めてでした。山が多いなと気づきましたし、寺や仏像もいっぱいあるなと思いました。模型作りはとても楽しかったし、面白かったです。景観に興味を持ちました。これからは、自分の町をもっと詳しく分かるように頑張りたいです。良い経験になりました。
- 建築士の方が最後に東日本大震災の話をした時、こんなに被害が大きかったんだなと思いました。
- 建築士に興味がありませんでしたが、将来の夢になりました。まち歩きや模型作りを通じてアイデアがたくさん浮かびました。学んだことを生かして、家の花壇に花を植えようと思います。
- 模型作りでは理想とする北中を作ることができました。マインドマップ作成や建築士の方の話や説明もためになるものばかりでした。
- まち歩きをしていて、森の中に鉄塔などがあり自然を壊している気がしました。模型作りでは、たくさんの改善点が見つかりました。外国と日本の建物の違いなど知ることができ、将来、外国や他県に行ったら、それぞれの特徴や日本の違いも見てみたいです。
- 瓜生野は目立たない場所でしたが、まち歩きを通して自然いっぱい魅力のあるまちだと分かりました。景観は地域の雰囲気にも関わる重要なものなんだなと思いました。
- 模型づくりで「緑いっぱい」「地域にあった」などを考えました。建築や景観をつくることは難しいことだと思いました。

### ■ 建築士会から皆さんへのメッセージ

地域に残されている文化や風習はその土地の風景から派生している一つの結果・余波とも言えます。

北中は悠々と流れる大淀川沿いの田園地帯にあり、学舎からは宮崎平野を囲む山々の美しい稜線を臨むことができます。その泰然とした景色は長い年月で築かれ継承されるものです。生徒さん達に気付いて欲しく、授業の中では何度も繰り返しました。

今回の授業では「北中をデザインする」を主題に景観に配慮した学校となるよう模型制作に取り組んで貰いました。作品は表現方法の違いはあったものの、どれもより良く見せるための工夫が感じられた見事なものでした。短い時間で成果品を完成させた生徒さん達の努力には敬服します。ただもう少し踏み込んで「景観」を捉えてくれたなら更に地域に相応しい学校を提案できた気がします。

今後、一人でも多くの生徒さんが日々の生活の中で、山々を見、川を見、そして自分の住んでいる場所の豊かな自然・景観を顧みたま時、刹那でもその悠然とした風土・歴史を思い返して頂けることを願っています。

(社) 宮崎県建築士会 福添 勝郎

瓜生野・倉岡地区の広々とした田畑、美しい山並みに囲まれ、ゆったりと流れる大淀川に囲まれた地域。これらの美しい景観を認識し、守っていくことを目的として、自分たちの生活する学校を景観の目線から計画してもらいました。

中学一年生ともなると、手綱の調整が非常に難しい年頃。あまり偏った方向に誘導しないように授業に臨みましたが、最後に完成した作品は、それぞれに魅力があるものとなったのではないかと思います。植栽は重要なものだと感じてくれたようすし、建物の配置にもそれぞれの工夫が見られました。今後、景観的観点から、物事を見て頂くことを期待します。

(社) 宮崎県建築士会 越山 明典